

第2期熊本県まち・ひと・しごと創生 総合戦略

進捗レポート2022



令和4年(2022年)12月
熊本県



熊本県では、令和3年(2021年)3月に策定した県政運営の基本方針「新しいくまもと創造に向けた基本方針」及び基本方針に沿って実施する具体的施策をまとめた「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨という3つの困難を乗り越え、熊本の地方創生につなげるため、全力で取り組んでいます。

このレポートは、総合戦略の進捗状況(主な動きや成果等)をお伝えするために作成しました。蒲島県政4期目の総仕上げに向け、「誰一人取り残さないくまもとづくり」の実現を目指し、市町村や県民の皆様とともに取り組んで参ります。

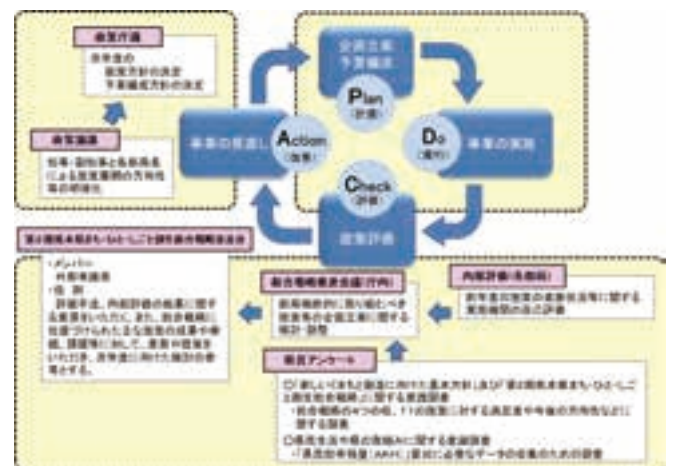
熊本県知事 蒲島郁夫

第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

- まち・ひと・しごと創生法第9条に基づく、熊本県のまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的計画として、新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越えとともに、2つの災害からの創造的復興を熊本の発展につなげ、SDGsの理念に沿った取組みを進めることにより地方創生を実現するため、今後の目標や施策の基本的方向、「新しいくまもと創造に向けた基本方針」に沿って実施する具体的施策を取りまとめたものです。
(期間：～令和5年度(2023年度))
- 「令和2年7月豪雨からの創造的復興」「新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応」「熊本地震からの創造的復興」「将来に向けた地方創生の取組み」という4つの柱に沿って施策を展開するとともに、SDGsの理念を全ての取組みの指針と位置づけ、その理念に沿った取組みを加速することにより、地方創生を推進しています。
- この戦略のもと、「県民総幸福量の最大化」の考え方を継承しながら、誰一人取り残さない持続可能な「新しいくまもと」を築き、熊本の更なる発展につなげます。

総合戦略の着実な推進に向けて

- 第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に当たっては、限られた経営資源の中で効率的に施策を展開するため、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(action)のPDCAマネジメントサイクルにより、継続的な改善を図りながら、成果重視の県政運営を行います。



●詳しくはホームページをご覧ください。

熊本県まち・ひと・しごと

検索

新しいくまもと創造に向けた基本方針 第2期 熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略（構成図）

基本理念

熊本地震と令和2年7月豪雨からの創造的復興を両輪に、持続可能な新しいくまもとを創造する。

SDGsの理念に沿った取り組みの推進

【数値目標】

- 県民総幸福量を70ポイント
- 令和5年の社会減を1,950人
- 令和5年までの4年間の出生数を59,710人

1 令和2年7月豪雨からの創造的復興

【取り組みの方向性】

愛する地域で誰もが安全・安心に住み続けられ、若者が“残り・集う”持続可能な地域の実現を目指すとともに、県内全域においても災害に強い郷土づくりに取り組む。

- 施策1 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取り組み
- 施策2 県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり

2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

【取り組みの方向性】

感染拡大防止と、大きな打撃を受けた県経済や県民生活の回復とのベストバランスを図るとともに、社会の変容を好機と捉え、熊本の更なる発展につなげる。

- 施策1 感染症対策の体制強化
- 施策2 持続可能な社会の実現
- 施策3 持続可能な経済活動の実現

3 熊本地震からの創造的復興

【取り組みの方向性】

熊本地震からの創造的復興の総仕上げに向け、残された課題を確実に解決し、熊本の更なる発展につなげる。

- 施策1 暮らし・生活の再建
- 施策2 創造的復興の推進

4 将来に向けた地方創生の取り組み

【取り組みの方向性】

このような情勢下においても着実に進めていく必要のある施策に、優先順位を見極めながら取り組み、地方創生の実現につなげる。

- 施策1 次世代を担う人材の育成
- 施策2 若者の地元定着と人材育成
- 施策3 安全・安心な社会の実現
- 施策4 魅力ある地域づくり

球磨川流域における
緑の流域治水の推進

水俣病問題

令和4年度の主な動き

1 令和2年7月豪雨からの創造的復興



「くまもとモデル」第一号として
相良村松葉仮設団地を利活用



大坪川（津奈木町）復旧状況



地域防災力強化のための
住民避難訓練（球磨村）



球磨川水系河川整備計画学識者懇談会



流水型ダムを前提とした
新たな五木村振興に係る五木村民説明会

施策横断的な取組み



熊本県SDGs登録制度
第3期登録事業者登録証交付式の開催

2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応



高齢者施設業務継続支援チーム



第3回半導体関連産業集積強化
推進本部会議を開催



新しい観光スタイルの提案
（観光 MaaS の実証事業）



福岡移住相談窓口の開設
（R4年7月）



くまもとDX推進
コンソーシアムを設立



首都圏への「くまもと黒毛和牛」
生体出荷を開始



くまモンをテーマにした
旅行商品の全国販売

3 熊本地震からの創造的復興



県・益城町による
独自の住まいの再建支援



震災ミュージアム中核拠点施設
R5年夏の開館に向けた整備推進



UXプロジェクトの拠点
「Pre-UX イノベーションハブ」がオープン



阿蘇及び東京で阿蘇世界文化遺産
登録推進シンポジウムを開催



秋津地区の農地や農業用施設の
復旧に伴う竣工記念式典の開催

:SDGs



くまもとSDGsアワードの開催

4 将来に向けた地方創生の取組み



こども図書館の整備について公表
(安藤忠雄建築研究所と協定締結)



夜間中学シンポジウムin熊本の開催



交通安全に対する気運の醸成を目的
としたテレビCM放送による広報啓発



第1回ゼロカーボン社会・くまもと
県民会議の開催



©AC KUMAMOTO

ロアッソ熊本
J1参入プレーオフ進出



さかなクンが
「みなまた・あしきたギョギョ大使」
に就任

1 令和2年7月豪雨からの創造的復興

施策
1

被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み



「すまい」の再建 5つの支援策

- 地域支え合いセンターの運営支援を通じて、7市町村において、累計約8万8千件の訪問や電話等の被災者支援活動を実施した。
- 同センターと連携し、被災者の意向に沿った住まいの再建支援のため、県独自の5つの支援策により688件の助成を行った。



観光複合施設「HASSENBA」

- 観光複合施設HASSENBAなど、なりわい再建支援補助金の交付決定を行った500件のうち、325件が復旧を完了した。
- 宿泊施設や観光施設の営業再開を支援し、人吉温泉の復旧率は84.8%となったほか、球泉洞がR4年4月に再開した。



解体前



解体後

球磨村(茶屋集落)の公費解体前後の様子

- 公費解体を含む災害廃棄物の処理が概ね完了した。



復興まちづくり・集落再生の取組み推進

- 人吉市青井地区の土地区画整理事業や球磨村渡地区の宅地整備について、県施行による復興まちづくり・集落再生を推進した。
- 関係機関との連絡調整や助言等を行い、4市町村で復興まちづくり計画の策定を完了した。
- 復興基金を活用し、住まいの安全確保を支援する事業を創設した。



国道219号の復旧状況



仮橋の設置状況(相良橋)

- 国道219号の県道芦北球磨線(大野大橋)から人吉方面の一般車両の通行が可能となった。
- 流出した10橋のうち累計4橋については仮橋が設置され、生活道路としての機能が回復した。
- 県管理道路については、73力所中、累計57力所の全面通行止めを解除した。



宮浦地区(芦北町)県営災害復旧事業



神瀬地区(球磨村)災害関連緊急治山事業

- 農地・森林の復旧、農業用機械等の再導入支援、林道や林業用施設の復旧、水産業施設の復旧など、農林漁業者の生産基盤の早期復旧に向けて取り組み、被災した農家へ4,000件超の支援を行った。



くま川鉄道部分運行再開(R3年11月)



JR肥薩線検討会議を設置(R4年3月)

- 鉄道の復旧に向け、国・県・JR九州により「JR肥薩線検討会議」を設置し検討を進めた。
- くま川鉄道では、国や市町村と連携した支援を実施し、部分運行が開始された。
- 代替バスを運行する鉄道会社への補助により、学生の通学手段を確保した。



国宝 青井阿蘇神社



県史跡相良家墓地

- 被災した文化財の復旧においては、国宝青井阿蘇神社の国宝建造物及び県史跡相良家墓地を含む9件の復旧を完了した。

 …R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
 …戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

主な評価指標	戦略策定時実績値 (R1)	戦略策定時実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値 (R5)	達成度
被災された方々お一人お一人の意向に沿った住まいの再建・確保	-	-	「住まいの再建5つの支援策」について市町村等へ制度周知 被災者からの補助金交付申請の受付等		-	-	-	完了	-
再建を目指す全ての事業者の事業再開	-	-	141	500	→	→	500	完了	-
再建を目指す全ての農林漁業者の生産基盤の復旧	-	-	3,666	4,725	→	→	4,725	完了	-

施策
2

県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり



マイタイムライン
(自然災害から自身を守るための防災行動計画)

- 「逃げ遅れゼロ」の実現に向け「マイタイムライン」の全世帯配付やガイドブックの全中学生への配布等を行った。
- 土砂災害から県民の命を守るために、土砂災害特別警戒区域内に居住する住民に対し住宅の移転費用の補助を行い、26件の住宅が安全な地域へ移転した。
- 災害時に必要な情報を住民に確実に届けるため、全市町村で戸別受信機等の導入を進めた。
- 県防災情報共有システムにおいて、災害関係情報のSNS配信を可能とした。



農業生産基盤整備(大口西部排水機場)

- 災害を防止し農業経営の安定を図るための重要な役割を担う排水機場について、県内5地区で整備を行った。
- 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策により、河川拡幅などの河川改修や土砂災害防止施設の整備等を推進した。



九州中央自動車道 矢部IC(仮称)

- 九州中央自動車道(山都中島西IC～矢部IC)のR5年度開通に向けた工事が進み、有明海沿岸道路の県内初の工事着手が実現した。



道の駅「錦」

- 道の駅の防災機能強化に取り組み、道の駅「錦」において非常用電源、非常用井戸を備えた防災トイレの整備を完了した。

 …R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
 …戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

主な評価指標	戦略策定時実績値(R1)	戦略策定時実績値(4年累計平均)	R2実績値(R3評価)	R3実績値(R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値(R5)	達成度
幹線道路の整備進捗率	53.9%	—	55.3	58.6	➡	➡	58.6	66.6%	88.0%
土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数	62件/4年	15.5件/年	31	26	➡	➡	57	65件/4年	87.7%
県が育成した防災士の資格取得者数	1,027人	—	1,027	1,188	➡	➡	1,188	1,500人	79.2%

2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

施策 1

感染症対策の体制強化



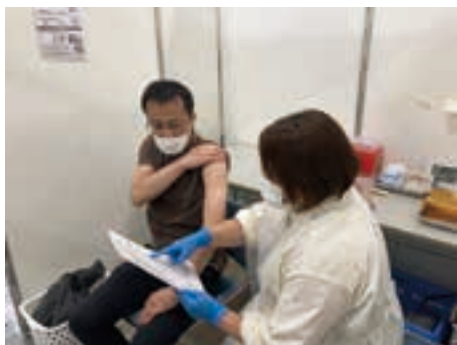
入院受入病床

- 県内各地に「受診・案内センター」を設置した。
- 診療・検査医療機関の指定(R3年度末:693医療機関)や医療機関等の外来・検査に関する体制整備を支援することで、発熱者等が速やかに診察や検査を受けることができる体制を構築した。
- 医療機関における人工呼吸器等の設備整備に対する助成を行うことで、重症患者等に対する医療提供体制を強化した。
- 最大確保病床数をR2年度末の505床から830床に増やすことで、蔓延期等における医療提供体制の整備と感染拡大防止を図った。

- 県医師会を中心に、熊本大学病院、県の3者が連携し、ICTを活用して治療歴、処方歴、検査データ等を共有する「くまもとメディカルネットワーク」を推進した(医療機関や介護事業所等、新たに88施設(累計776施設)が登録)。
- 軽症者等に対する宿泊療養の確保居室数を440室から1,335室に増加した。
- 「くまもとメディカルネットワーク」による情報連携を進め、宿泊療養施設における健康管理体制を強化した。



くまもとメディカルネットワーク
参加者カード



ワクチン接種



集団接種シミュレーション



県民広域接種センター

- 初回接種、追加接種(3回目)、小児接種など状況の変化に対応しながら、市町村支援を行い、ワクチン接種を推進した。
- ワクチンの接種を推進するため、県主体で県民広域接種センターを運営し延べ約167,000回のワクチン接種を実施した。
- 副反応等の相談体制及び専門的医療機関での受診体制を確保した。

□ …R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
 □ …戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

主な評価指標	戦略策定時実績値(R1)	戦略策定時実績値(4年累計平均)	R2実績値(R3評価)	R3実績値(R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値(R5)	達成度
くまもとメディカルネットワークに参加している県民数	30,864人	-	51,497	69,276	→	→	69,276	70,000人	99.0%



子ども食堂

- ひとり親世帯等への食材配布等による生活支援及び子ども食堂の安全・安心な活動継続に向けた運営支援に取り組んだ。
- 地域の学習教室等を拡充し(188カ所、利用者数1,028人(R3年度末時点))、ひとり親家庭等に安らぎの場・学びの場を提供した。



ドライフラワーの事業化、ストック収穫作業体験
(高森町野尻地域)



地域戦略策定に向けた話し合い・報告会
(南阿蘇村地域・山鹿市菊鹿地域)

- 都市と農山漁村との交流促進のための農業体験プログラム等を5商品開発した。
- スーパー中山間地域の創生に着手し、公募により3地域(山鹿市菊鹿、高森町野尻、南阿蘇村)を選定し、地域の将来像を市町村と地域住民が一体となって描いた「地域戦略」の策定を支援した。



DXくまもと創生会議



くまもとDXグランドデザイン

- 「DXくまもと創生会議」において、今後のDX推進の取組みの羅針盤となる「くまもとDXグランドデザイン」を策定し、2つのビジョンと7つの実現の方向性を定めた。

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

- 「くまもとDXグランドデザイン」では、「産業の発展を共創し県民所得を伸ばし続ける」、「ひとを惹きつける快適・安全な生活環境を共創する」という2つのビジョンと、それを実現するため、観光、ヘルスケア、防災等「7つの実現の方向性」を定めた。産学官の共創により、グランドデザインの実現及び県全体のDX推進に取り組んでいく。
- 県では、R3年3月に、「県民誰もがICTの恩恵を享受し、安全安心便利なくらしができる超スマート社会くまもとの実現」に向け、「熊本県情報化推進計画(R3~R5)」を策定。
- 全庁一丸となって地域や行政のデジタル化の取組みを着実に進めていくため、「R3年度熊本県情報化施策実施計画」を策定し、具体的な取組みを実施。知事部局、警察本部、企業局、教育庁で構成する「熊本県高度情報化推進本部」を通じて、各施策の進行管理を行った。



県立高校における端末や電子黒板等を活用した授業

- 県立学校に端末を約21,000台(累計約30,000台)整備し、1人1台端末を実現した。
- 学校情報化認定制度による「優良校」の認定について、市町村立学校168校、県立学校18校が新たに取得した。



熊本県移住定住360°VR動画

- 熊本コネクションプロジェクトによるオンラインイベントを行ったほか、移住希望者を対象とした移住相談会等を21回開催し、延べ378人の参加があった。
- 8回の雑誌掲載や、各市町村の生活が想像できるようにVR動画の作成など、多様なターゲットに向けて各種メディアを利用した広報活動を行った。



移住相談会



熊本コネクションオンライン交流会

移住定住等の推進

- コロナ禍による地方移住への関心の高まりを受け、移住定住推進を重要課題と位置付け、全庁的な移住定住推進のため、R3年4月に「熊本県移住定住推進本部」を設置。
- 移住先として「選ばれる熊本の実現」のため、4つの方針（①デジタル技術の活用、②ターゲット(都市部)の明確化、③意欲的な市町村等への重点支援・連携強化、④関係人口等の拡大)を定めて取組みを推進。
- 都市部の若年層をターゲットに「豊かな暮らし」を実現する施策を展開し、熊本への人の流れを加速化する。

□…R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
 □…戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

主な評価指標	戦略策定時実績値(R1)	戦略策定時実績値(4年累計平均)	R2実績値(R3評価)	R3実績値(R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値(R5)	達成度
子供の居場所の数(地域の学習教室及び子ども食堂)	教室開設数: 165カ所	—	176	188	→	→	188	教室開設数: 200カ所	94.0%
	食堂稼働数: 73カ所	—	45	83	→	→	83	食堂稼働数: 100カ所	83.0%
刑法犯認知件数	6,498件/年	—	5,081	5,187	→	→	5,187	前年比減	—
学校情報化認定制度で「先進地域」の認定を受けた自治体数	3市町村(県)認定なし	—	3認定なし	19認定なし	→	→	19認定なし	44市町村(県)認定	43.2% —
RPAやAI等の新たなICTツール等の導入により効率化した県の業務数	3件	—	8	10	→	→	10	11件	90.9%
県外からの移住者数	2,074人/年	—	1,620	2,025	→	→	3,645	10,000人/4年	36.5%



UIJセンターでの相談対応

- 熊本、東京、大阪、福岡に設置した「熊本県UIJターン就職支援センター」において、UIJターン就職希望者や県内事業者の相談対応、マッチング支援等を実施し、98人のUIJターン就職につなげた。
- 半導体や自動車関連企業への細やかなフォローアップやオフィス系企業の積極的誘致により、企業立地件数は59件と過去最高となった。
- TSMCの熊本進出が決定するなど、半導体関連産業の企業立地件数は22件と過去最高を更新した。



熊本県産あさりの知事トップセールス(R4年4月)

- あさりの産地偽装への対応として、検査費用の拡充など体制を強化した。
- 「熊本県産あさりブランド再生協議会」を設立し、「熊本モデル」による新たな流通体制の仕組みを構築した。



東京応化工業(株)と菊池市との立地協定(R4年3月)



JASMと菊陽町との立地協定(R4年4月)

半導体産業集積強化の推進



- 熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年7月豪雨の3つの困難への対応を進める中、R3年11月に、本県の発展に大きく寄与する台湾の世界最大手半導体企業TSMCの熊本進出が決定。
- 県では、事業計画の円滑な推進等のため、「熊本県半導体産業集積強化推進本部」を設置し、全庁的な推進・支援体制を整備。また、人材の育成・確保や渋滞・交通アクセス対策、教育環境の整備などの個別の課題に対応するため、6つの部会(①人材確保・育成、②渋滞・交通アクセス対策、③国際交流、④教育環境、⑤熊本PR、⑥環境保全)を設置するなど、庁内一丸となってこのプロジェクトを進め、広く波及効果が生じるよう取り組んでいる。

主な評価指標	戦略策定時実績値(R1)	戦略策定時実績値(4年累計平均)	R2実績値(R3評価)	R3実績値(R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値(R5)	達成度
熊本県UIJターン就職支援センター登録者におけるUIJターン就職者数	260人/4年	65人/年	72	98	→	→	170	400人/4年	42.5%
農業分野における外国人材(技能実習生、特定技能外国人材)の受入人数	3,425人/年	—	3,688	3,772	→	→	3,772	4,000人/年	94.3%
製造品出荷額	2兆8,461億円/年(H30)	—	28,375	【集計中】	—	—	【集計中】	3兆203億円/年	—
IT関連産業の売上高	369億円/年(H30)	—	525	【集計中】	—	—	【集計中】	392億円/年	—
企業立地件数	34件/年	—	41	59	→	→	59	35件/年	達成
県の施策を通じて創業・第二創業を行った企業数	16社/4年	4社/年	6	5	→	→	11	20社/4年	55.0%
県内港国際コンテナ貨物取扱量	37,163TEU/年	—	36,665	36,427	→	→	36,427	44,000TEU/年	82.8%
主要な農産物の10a当たりの収量	2,792kg/10a/年(H30)	—	2,834	【集計中】	—	—	【集計中】	2,847kg/10a/年	—
認定農業者や地域営農組織等へ集積する農地面積	79,296ha	—	82,809	84,507	→	→	84,507	86,800ha	97.4%



農業や肥料散布にドローンを導入

- 農業や肥料散布、山林調査や苗木運搬等のためのドローンの導入や、リモート操作機能を付加した養殖管理システムの開発等を支援した。
- 研修会の開催等により、その運用を支える人材を育成するなど、スマート農林水産業の取組みを推進した。



くまモンポート八代に初寄港するクルーズ船

- 県民限定利用としていた「くまモンパーク」をR3年10月に全面オープンし、R3年度末までに63,000人超が来園した。
- 継続的かつ積極的なポートセールスにより、コロナ禍において、「くまモンポート八代」への初寄港も実現した。



▲ロビン像
(南阿蘇村)



◀ゾロ像
(大津町)



▲ナミ像
(西原村)

©尾田栄一郎/集英社

麦わらの一味の像3体設置

- 「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」の一環として、麦わらの一味のナミ(西原村)、ロビン(南阿蘇村)、ゾロ(大津町)の像を設置した。
- 「夏目友人帳」と連携した人吉・球磨地域のPR動画の公開や、「クレヨンしんちゃん」と連携した阿蘇地域の復興応援を実施するなど、「マンガ県くまもと」としての取組みを進めた。

- R3年10月に、官民の4者で「熊本県におけるワーケーションの推進に向けた連携協定」を締結した。
- 阿蘇地域及び天草地域におけるワーケーションモデルコースを策定し、首都圏を中心とした企業12社によるモニターツアーを実施した。



官民4者による連携協定締結
(ワーケーション推進)



くまモンの定期出動の拡充

- 「くまモン関連施設の充実(リアル)」と「バーチャル世界による共有空間の拡大」の両輪で推進する「くまモンランド化構想」を公表した。

…R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
 …戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

主な評価指標	戦略策定時 実績値 (R1)	戦略策定時 実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値 (R5)	達成度
ドローンを活用した土地利用型農業防除面積の割合	5%	—	9	10	→	→	10	13%	76.9%
スマート林業技術等を導入した事業体の割合	—	—	3	13	→	→	13	15%	86.7%
スマート養殖業を活用・導入した免許漁場数	3漁場	—	8	9	→	→	9	7漁場	達成
農林水産物等の輸出額	61億円/年	—	77.6	95.9	→	→	95.9	80億円/年	達成
中山間農業モデル地区における目標達成率	—	—	—	—	—	—	—	50%	—
延べ宿泊者数	763万人/年	—	473	474	→	→	474	800万人/年	59.3%
クルーズ船寄港数	19回/年	—	0	0	→	→	0	100回/年	0%
新たな観光スタイルにつながる着地型・体験型旅行商品の予約件数	10,000件/年	—	7,747	5,143	→	→	5,143	13,000件/年	39.6%

3 熊本地震からの創造的復興

施策 1

暮らし・生活の再建



地域の縁がわ

- 3市町村の地域支え合いセンターの運営支援や、地域の縁がわ団体への補助率嵩上げ等の支援を行い、被災者の見守りやコミュニティづくりを推進した。



健軍商店街における商業施設の復旧状況

- 再建途上にある被災事業者延べ340者へのプッシュ型支援や、他事業者の参考となる取組み延べ136者へのモデル型支援を実施するとともに、グループ補助金の申請予定件数のうち、99.8%の復旧が完了した。

- 県独自の「6つの支援策」により、熊本地震におけるピーク時(H29年5月)の被災者47,800人のうち、約99%に当たる約47,705人の方が住まいの再建を果たした。

施策 2

創造的復興の推進



益城町復興まちづくりセンター
「にじいろ」

- 熊本市の「熊本城復旧基本計画」の円滑な実施を図るため、熊本城文化財修復検討委員会において復旧方法の検討を支援した。
- 県の文化財等復旧復興基金から熊本市の実負担額を全額拋出し、復旧を支援した。

- 町が木山交差点付近で整備していた「益城町復興まちづくりセンター」“にじいろ”がR3年度末に開所した。



内部公開が開始された
熊本城天守閣



南阿蘇鉄道災害復旧工事
(第一白川橋りょう)

- 南阿蘇鉄道については、復旧工事に係る資金繰り支援など、復旧工事の着実な実施に向けた経営支援を行った。

- R3年10月に、阿蘇の観光プロモーションとして作成したWEB動画「阿蘇の不時着」を公開。九州・関西を中心に107万回再生を超えた。



WEB動画「阿蘇の不時着」

- 益城町の土地区画整理事業では、R3年度内に仮換地指定が約7割となり、造成工事が完了した88画地を権利者に引き渡した。
- 県道熊本高森線4車線化については、R3年度内に延べ1,819mの歩道が完成した。
- 阿蘇の世界遺産暫定一覧表入りに向け、学術委員会や国際専門家ワーキンググループを開催し、世界遺産暫定一覧表に係る提案書の再提出を行った。

 …R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
 …戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

主な評価指標	戦略策定時実績値(R1)	戦略策定時実績値(4年累計平均)	R2実績値(R3評価)	R3実績値(R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値(R5)	達成度
益城町市街地部の人口回復率	19%	—	35	48	→	→	48	50%	96.0%
熊本と阿蘇の交通量の回復状況	32,700台/日	—	37,800	38,600	→	→	38,600	39,400台/日	98.0%
空港周辺における新産業振興策(UXプロジェクト)の取組みに係る企業・団体等の画数	—	—	12	36	→	→	48	40企業・団体等/4年	達成

4 将来に向けた地方創生の取り組み

施策 1

次世代を担う人材の育成



県立高校における端末を活用した授業

- 全県立学校において1人1台端末の整備が完了し、普通教室及び特別教室等への校内通信ネットワークを整備した。
- 私立学校については、端末及びネットワーク整備に要する費用を補助するなどの支援を実施した。
- 県独自の中学1年生での35人学級導入により、生徒一人ひとりへのきめ細かな指導を可能とした。
- 学力向上アドバイザーによる教員への指導・助言や児童生徒の課題克服の充実等、子供たちの学力向上に取り組み、R3年度県学力・学習状況調査では、14教科中8教科が全国平均を上回り、R2年度の7教科から向上した。



学力向上アドバイザー(左)による
教員への指導・助言の様子



高校生の海外大学
オンライン講座

- 教員の指導力向上と生徒の英語力向上を図るため、英語教員の研修や授業づくりに関する訪問指導、検定試験の受験料補助等に取り組み、R3年度の中3生徒の英検3級相当以上の取得率は32.2%と、R2年度より5.9ポイント上昇した。
- 世界チャレンジ支援基金を活用し、高校生74人の海外大学オンライン講義受講等を支援した。
- 県とモンタナ州立大学との間で返済不要の奨学金制度を創設した。



マンガを活用した高森高校の
魅力向上に関する四者協定



熊本スーパーハイスクール構想

- 熊本スーパーハイスクール構想において、新たな県独自指定校としてイノベーションハイスクール等4分類を追加。
- R4年3月に県立高校全50校のスクール・ミッションを定め特色を明確化し、生徒自らの関心や適性、将来の目標等に合った学校選択ができるよう取り組んだ。
- 社会や地域のニーズに応える新たな学科等(マンガ学科等)の設置や、グローバル人材の育成を目指す国際バカロリアの導入に向けた準備など、魅力ある学校づくりに向けた取組みを推進。

 …R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
 …戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

主な評価指標	戦略策定時 実績値 (R1)	戦略策定時 実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値 (R5)	達成度
全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った項目数	5項目中1項目	—	【中止】	4項目中1項目	➡	—	4項目中1項目	全て	—
生徒の英語力									
中3:英検3級相当取得率	中3: 27.1%	—	26.3	32.2	➡	➡	32.2	中3: 40.0%	80.5%
高3:英検準2級相当取得率	高3: 32.9%	—	34.4	32.3	➡	➡	32.3	高3: 45.0%	71.8%



ブライト企業と学生等を対象とした企業説明会

- 県内高校卒業生(R4年3月卒業)の県内就職率は63.0%となり、戦略策定時実績値(R1)から1.7ポイント上昇した。
- ブライト企業と高校生・大学生等を対象とした企業説明会等の実施(計4回、延べ151社、1,592人参加)や企業へのインターンシップの支援を実施した。
- 企業と連携した奨学金返還等サポート制度(就職予定者登録数:前年度比1.3倍)の活用促進を図るなど、官民連携して若者の地元定着を推進した。



農業の経営継承
マッチング交流会

- 農林水産業では、「くまもと農業経営継承支援センター」を設立し、経営資産の移譲希望者情報の公開、マッチング支援等を行った。
- 林業大学校での技術習得支援、新規漁業就業者の円滑な就業・定着に向けたワンストップ支援等を実施した。



小学生を対象とした体験学習による
介護職の魅力発信

- 建設分野では、高校生を対象に建設産業ガイダンス(約400人参加)や現場実習(165人参加)を実施した。
- 高校生の資格取得や企業の働き方改革等を支援した。



高校生向け「建設業ナイストライ」
(舗装実習)

- 医療・福祉分野では、医学生・看護学生(計209人)への修学資金の貸与や医師不足医療機関への医師派遣(32人)を実施した。
- 入所施設等215事業所への介護ロボット等導入支援による介護職員の負担軽減、体験学習による介護職の魅力発信等を行った。
- 離職者の就労相談等を行い、479人の看護職員の再就業につなげた。

- ものづくりなどの産業人材の確保・育成について、技術短期大学校等の職業訓練により実践技術者を養成した。
- 在職者の技能習得に対する支援を行い、若年技術者の技能水準の向上を図った。

 …R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
 …戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

主な評価指標	戦略策定時実績値(R1)	戦略策定時実績値(4年累計平均)	R2実績値(R3評価)	R3実績値(R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値(R5)	達成度
新規学卒就職者(県内高校)の県内就職率	61.3%	—	62.9	63.0	→	→	63.0	65.0%	96.9%
ブライト企業に就職した新卒学生数	3,239人/4年	809.75人/年	1,807	1,564	→	→	3,371	3,600人/4年	93.6%
農林水産業の新規就業者数	527人/年(H30)	—	559	【集計中】	—	—	【集計中】	690人/年	—
看護職員数	34,248人(H30)	—	35,070	【集計中】	—	—	【集計中】	36,900人	—
介護職員数	30,859人(H30)	—	32,396	【集計中】	—	—	【集計中】	33,878人	—
介護ロボット・ICT機器を導入している入所施設の割合	21.9%	—	30.4	36.5	→	→	36.5	50.0%	73.0%
新規学卒就職者(県内中学・高校)の県内建設業就業者数	178人/年	—	181	204	→	→	204	180人/年	達成



KUMAMOTOよかボスアワード2021表彰式

- 社員の仕事や結婚、子育て等を応援する「よかボス企業」がR2年度から213件増加して計915件となった。



認知症サポーター養成講座

- 認知症対策については、認知症サポーター養成数が39万人を突破し、人口比で13年連続日本一を達成した。



農福連携による菊芋のトリミング作業

- 障がい者の就労については、就労相談支援により276人が一般事業所に就職するとともに、農福連携の推進により、JAや農業法人等の農業団体において延べ50の福祉事業所が施設外就労を行った。

- 安全・安心な生活空間の創出に向けて、繁華街の防犯カメラ設置及び荒尾・玉名地域をモデル地区とした通学路の見守りカメラ設置を行い、地域の治安対策に取り組んだ。



モデル地区における見守りカメラの設置状況



医療的ケア児支援センター

- 交通事故防止対策の強化のため、歩行者優先対策、通学路への横断歩道の新設に加え、新たに導入した運転技能自動評価システムによる高齢者を対象とした交通安全教育の実施など対策を強化した。
- 医療的ケア児及びその家族を支援するため、R4年3月に、相談対応や研修、情報提供、地域支援等を行う「熊本県医療的ケア児支援センター」を設置した。



運転技能自動評価システムを活用した交通安全教育

- 子供の安全・安心を確保するため、児童相談所の児童福祉司、児童心理司を増員するとともに、一時保護専用施設を1カ所、児童家庭支援センターを3カ所新設し、児童相談体制を強化した。
- 地域の担い手となる「まちのよかボス」を新たに22人任命するとともに、「まりっくまバスポート(結婚応援バスポート事業)」を開始し、結婚・出産・子育ての支援強化に取り組んだ。
- 待機児童の解消に向けては施設整備等による受け皿の拡大と保育士の人材確保に取り組み、待機児童が8人に減少した(R2年度70人)。
- スクールロイヤールによるいじめ予防授業、研修等を実施し、いじめの未然防止に取り組んだ。
- R4年3月には、障がいのある人の意思疎通支援を推進するため、「熊本県手話言語の普及及び障害の特性に応じた意思疎通手段の利用の促進に関する条例」を制定した。

主な評価指標	戦略策定時実績値(R1)	戦略策定時実績値(4年累計平均)	R2実績値(R3評価)	R3実績値(R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値(R5)	達成度
「結婚支援」、「一般不妊治療助成」、「早産予防対策事業」の全てに取り組む市町村数	31市町村	—	34	34	→	→	34	45市町村	75.6%
保育所等利用待機児童数	178人	—	70	8	→	→	8	0人	95.5%
登録里親数	214世帯	—	232	278	→	→	278	348世帯	79.9%
くまもとスマートライフアプリ登録者の平均歩数	5,300歩	—	5,600	5,980	→	→	5,980	6,300歩	94.9%
農福連携コーディネート事業での契約件数	11件	—	46	96	→	→	96	50件	達成
交通事故死傷者数	5,161人/年	—	4,033	3,975	→	→	3,975	前年比減	達成



- 熊本都市圏と県内主要都市を結ぶ「90分構想」の実現に向けて天草地域における本渡道路の工事や大矢野道路の測量調査・用地買収を推進した。



- 2050年までに県内CO2排出実質ゼロを達成するため、各家庭で必要な取組みやCO2削減効果を見える化した「ゼロカーボン行動ブック」を活用した普及啓発等を開始した。
- プラスチック代替材料を用いた半導体研磨液と塗料を開発し特許を2件出願した。

- R3年度は、全国的に高病原性鳥インフルエンザが流行。本県でも12月に南関町で発生したが、関係機関が連携し迅速に対応したことにより、早期に防疫措置を完了した。
- 防疫措置後も、各家畜保健衛生所等が飼養衛生管理基準に基づいた防疫体制の更なる強化と、知事による消毒命令に併せた消石灰の散布指導を実施し、県内での発生を1例に留めた。



- 五木村複業協同組合が「特定地域づくり事業協同組合」として県内初認定を受けるなど、地域の担い手確保や移住定住を推進した。(実績：移住者12人)
- 「ふるさと五木村づくり計画」に基づく、観光・物産振興の取組みにより、宿泊者数が前年比約1.4倍(4,516人)となった。



- 「熊本県芸術文化祭」の一環である「くまもと子ども芸術祭2021」において、14団体・364名の出演・参加により2年ぶりに有観客で開催するとともに、「くまもと復興国際音楽祭」において、県内各地で復興コンサートを行った。



- くまもとジビエ料理フェア(60店舗参加)を開催し、県産ジビエの認知度向上と消費拡大を推進した。
- 県内事業者が国産ジビエ認証を取得した。(県内2例目)
- 空港周辺地域におけるRE100電力供給のための検討ワーキンググループを電力会社と開催。「再エネ100宣言REAction」に県内企業が1社新規加盟し、合計2社となった。

□…R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
 □…戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

主な評価指標	戦略策定時実績値(R1)	戦略策定時実績値(4年累計平均)	R2実績値(R3評価)	R3実績値(R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値(R5)	達成度
県による新たな地域資源の掘り起こしや市町村等と協働して行う地域づくりの取組件数	96件/4年	24件/年	31	35	→	→	66	120件/4年	55.0%
プラスチックごみ分別回収(容器包装リサイクル法対象)に取り組む市町村数	39市町村	-	39	39	→	→	39	45市町村	86.7%
県内企業・団体等の「再エネ100宣言RE Action」参加数	-	-	1	2	→	→	2	10団体	20.0%

施策横断的な取り組み:SDGs



熊本県SDGs登録制度登録証交付式(第1期)



- SDGsの裾野を広げるとともに、取り組む企業等を見える化し、官民連携による地域の自律的好循環の形成につなげ、地方創生を推進するため、R3年1月に「熊本県SDGs登録制度」を創設した。
- R3年度は1,000件を超える事業者が登録し、第1期は登録証交付式を、第2期は登録事業者向けのオンライン講演会を実施するなど、事業者におけるSDGsの更なる推進を図った。



熊本県SDGs登録制度
登録事業者向けオンライン講演会(第2期)



(株)熊本日日新聞社との連携協定

- 県内自治体や、熊本県SDGs登録事業者の取り組み事例を紹介する熊本県SDGs公式Facebook「くまもとSDGs」を開設した。



SDGs公式SNS

- 県内におけるSDGsの普及啓発を促進し、認知・気運を高め、持続可能な社会の実現に寄与するため、(株)熊本日日新聞社と「SDGsの普及啓発に関する連携協定」を締結した。

主な評価指標	戦略策定時 実績値 (R1)	戦略策定時 実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	戦略策定時と 前年度との 比較	前年度との 比較	目標値の 達成状況を 評価する実績値	目標値 (R5)	達成度
SDGs登録制度における登録事業者数	-	-	-	1,010	→	→	1,010	300件	達成

SDGsとは

- SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会を実現するための2030年を期限とする国際目標で、17のゴールと169のターゲット等から構成。
- これまで本県が進めてきた取り組み及び目標としている県民総幸福量の最大化は、SDGsに相通じるものであり、今後もSDGsを原動力とした地方創生を推進するとともに、民間企業や金融機関等の多様なステークホルダーと「オール熊本」のSDGs推進体制を構築し、持続可能な社会の実現に向け取り組んでいく。



令和3年度の戦略の推進状況について

データ
I

重要業績評価指標の動向(まとめ)

※令和4年12月末時点で実績が把握できたもの

～51の重要業績評価指標の戦略策定時と評価時の比較～

延べ51の重要業績評価指標の動向(戦略策定時と評価時との比較)を見ると、全体では35指標が上向き、3指標が横ばい、5指標が下向きとなりました。

また、うち8指標が目標値を達成しました。

取組みの方向性	指標数	上向き ➡	横ばい ➡	下向き ➡	未集計 他	目標値 達成
全体	51	35 (68.6%)	3 (5.9%)	5 (9.8%)	8 (15.7%)	8 (15.7%)
1 令和2年7月豪雨からの創造的復興	6	5 (83.3%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (16.7%)	0 (0%)
2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応	23	14 (60.9%)	0 (0%)	5 (21.7%)	4 (17.4%)	3 (13.0%)
3 熊本地震からの創造的復興	3	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33.3%)
4 将来に向けた地方創生の取組み	18	12 (66.7%)	3 (16.7%)	0 (0%)	3 (16.7%)	3 (16.7%)
施策横断的な取組み	1	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)

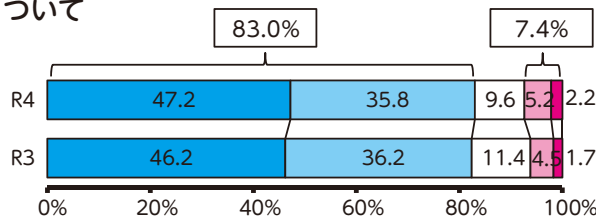
データ
II

県民アンケート結果

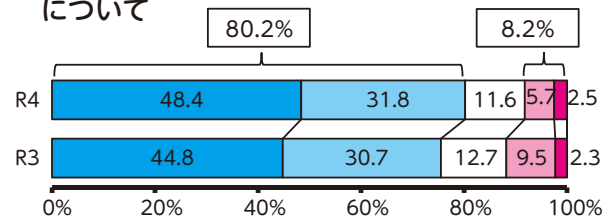
～「新しいくまもと創造に向けた基本方針」及び「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する意識調査の結果～

令和4年6月に県内在住の満18歳以上の男女1,500人を対象に実施した県民アンケートにおいて、「基本理念の実現に向けた施策を展開できていると思うか」の問いに対する回答の結果は次のとおりでした。(回答数666件、回収率44.4%)

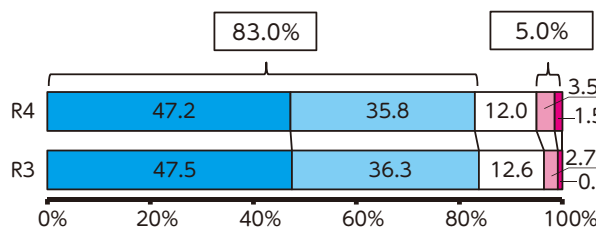
「1 令和2年7月豪雨からの創造的復興」について



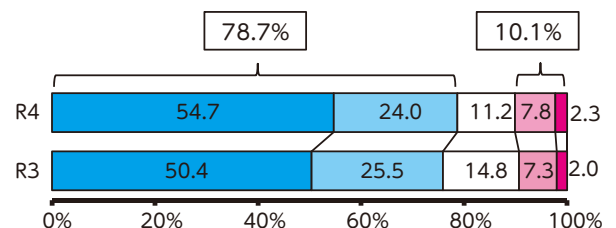
「2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応」について



「3 熊本地震からの創造的復興」について



「4 将来に向けた地方創生の取組み」について



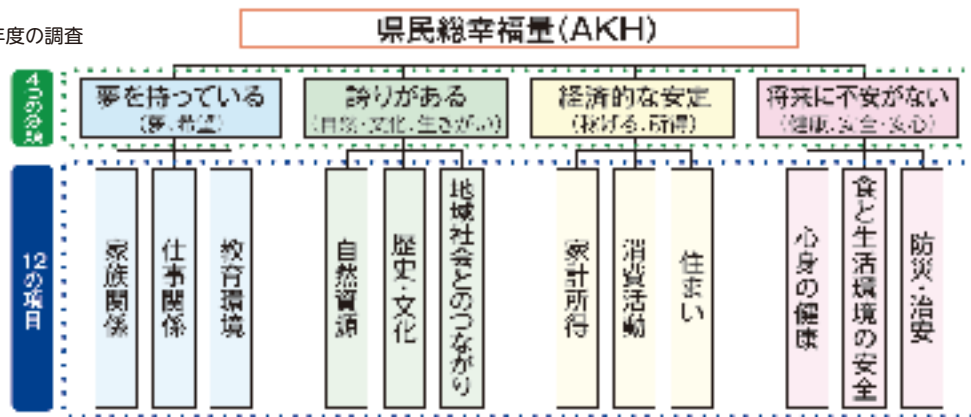
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらでもない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

県民総幸福量 (AKH:Aggregate Kumamoto Happiness)

- 蒲島県政の基本理念である「県民総幸福量の最大化」の考え方を県民と共有し、効果的な施策につなげるため、県民幸福量を測る総合指標として“県民総幸福量 (AKH:Aggregate Kumamoto Happiness)”を作成しています。
- 幸福の要因を「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」の4つに分類し、その要因ごとに「重視する項目」と「満足度」を県民アンケートにより測定しています。
- 過去7回の調査により、AKHと直感的な幸福度の間に相関があることが分かったため、令和3年度以降は、直感的な幸福度からAKHを算出しています。また、「ウエイト」を算出する設問を、「重視する順位」を尋ねる設問に変更するなど、設問内容を平易にして調査を実施しています。

〔AKHの構成〕

※平成24年度～令和元年度の調査



県民アンケート「県民生活や県の取組みに関する意識調査」に基づくAKH(R4)の算出

【調査概要】

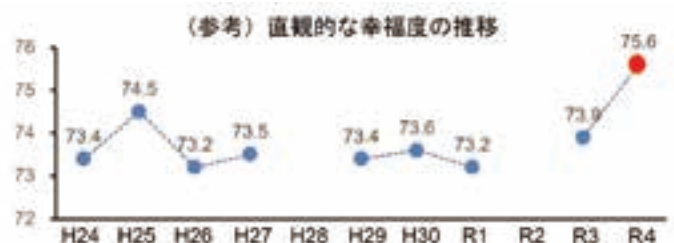
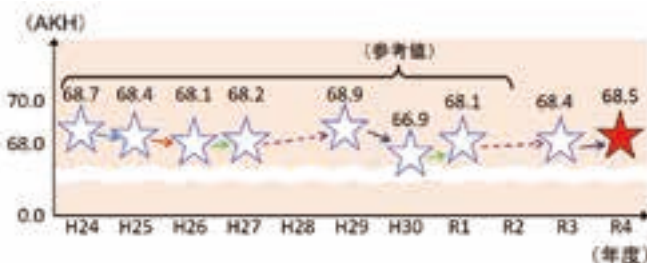
- ◇ 対象：県内在住の18歳以上の男女3,500人(無作為抽出)
※R3は県内在住の20歳以上の3,500人を対象に実施
- ◇ 期間：令和4年6月6日～6月20日 ※R3は6月7日～6月21日に実施
- ◇ 回収数：1,720件(回収率:49.1%) ※R3は1,820件(回収率:52.0%)
- ◇ 設問：現在の幸せについて5段階※で回答
※感じている、やや感じている、どちらでもない、どちらかと言えば感じていない、感じていない



〔AKHの計算式と算出結果〕

$$AKH = 64.4079 ※ + 「幸せを感じている」割合(35.4%) \times 0.1405 ※ - 「幸せを感じていない」割合(3.4%) \times 0.2642 ※ = \mathbf{68.5}$$

※過去7回の調査結果から得られた係数



重要業績評価指標(KPI)一覧

柱	施策	主な評価指標	戦略策定時実績値 (R1)	戦略策定時実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値 (R5)	達成度
令和2年7月豪雨からの創造的復興	被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取り組み	被災された方々お一人お一人の意向に沿った住まいの再建・確保	-	-	・「住まいの再建5つの支援策」について市町村等へ制度周知 ・被災者からの補助金交付申請の受付等		-	-	-	完了	-
		再建を目指す全ての事業者の事業再開	-	-	141	500	↗	↗	500	完了	-
		再建を目指す全ての農林漁業者の生産基盤の復旧	-	-	3,666	4,725	↗	↗	4,725	完了	-
	県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり	幹線道路の整備進捗率	53.9%	-	55.3	58.6	↗	↗	58.6	66.6%	88.0%
		土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数	62件/4年	15.5件/年	31	26	↗	↗	57	65件/4年	87.7%
		県が育成した防災士の資格取得者数	1,027人	-	1,027	1,188	↗	↗	1,188	1,500人	79.2%
新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応	感染症対策の体制強化	くまもとメディカルネットワークに参加している県民数	30,864人	-	51,497	69,276	↗	↗	69,276	70,000人	99.0%
	持続可能な社会の実現	子供の居場所の数 (地域の学習教室及び子ども食堂)	教室開設数: 165カ所	-	176	188	↗	↗	188	教室開設数: 200カ所	94.0%
			食堂稼働数: 73カ所	-	45	83	↗	↗	83	食堂稼働数: 100カ所	83.0%
		刑法犯認知件数	6,498件/年	-	5,081	5,187	↗	↘	5,187	前年比減	-
		学校情報化認定制度で「先進」の地域認定を受けた自治体数	3市町村 (県)認定なし	-	3 認定なし	19 認定なし	↗	↗	19 認定なし	44市町村 (県)認定	43.2% -
		RPAやAI等の新たなICTツール等の導入により効率化した県の業務数	3件	-	8	10	↗	↗	10	11件	90.9%
		県外からの移住者数	2,074人/年	-	1,620	2,025	↘	↗	3,645	10,000人/4年	36.5%
	持続可能な経済活動の実現	熊本県UIターン就職支援センター登録者におけるUIターン就職者数	260人/4年	65人/年	72	98	↗	↗	170	400人/4年	42.5%
			農業分野における外国人材 (技能実習生、特定技能外国人材)の受入人数	3,425人/年	-	3,688	3,772	↗	↗	3,772	4,000人/年
		製造品出荷額	2兆8,461億円/年(H30)	-	28,375	【集計中】	-	-	【集計中】	3兆203億円/年	-
IT関連産業の売上高		369億円/年(H30)	-	525	【集計中】	-	-	【集計中】	392億円/年	-	
企業立地件数		34件/年	-	41	59	↗	↗	59	35件/年	達成	
県の施策を通じて創業・第二創業を行った企業数		16社/4年	4社/年	6	5	↗	↗	11	20社/4年	55.0%	
県内港国際コンテナ貨物取扱量		37,163 TEU/年	-	36,665	36,427	↘	↘	36,427	44,000 TEU/年	82.8%	
主要な農産物の10a当たりの収量		2,792kg/10a/年(H30)	-	2,834	【集計中】	-	-	【集計中】	2,847kg/10a/年	-	
認定農業者や地域営農組織等へ集積する農地面積		79,296ha	-	82,809	84,507	↗	↗	84,507	86,800ha	97.4%	
ドローンを活用した土地利用型農業防除面積の割合		5%	-	9	10	↗	↗	10	13%	76.9%	
スマート林業技術等を導入した事業者の割合	-	-	3	13	↗	↗	13	15%	86.7%		
スマート養殖業を活用・導入した免許漁場数	3漁場	-	8	9	↗	↗	9	7漁場	達成		
農林水産物等の輸出額	61億円/年	-	77.6	95.9	↗	↗	95.9	80億円/年	達成		

□	…R3年度の実績値で達成状況を評価する指標
□	…戦略策定時からR5年度までの実績値の合計で達成状況を評価する指標

柱	施策	主な評価指標	戦略策定時実績値 (R1)	戦略策定時実績値 (4年累計平均)	R2実績値 (R3評価)	R3実績値 (R4評価)	戦略策定時との比較	前年度との比較	目標値の達成状況を評価する実績値	目標値 (R5)	達成度
新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応	持続可能な経済活動の実現	中山間農業モデル地区における目標達成率	-	-	-	-	-	-	-	50%	-
		延べ宿泊者数	763万人/年	-	473	474	↘	↗	474	800万人/年	59.3%
		クルーズ船寄港数	19回/年	-	0	0	↘	↔	0	100回/年	0%
		新たな観光スタイルにつながる着地型・体験型旅行商品の予約件数	10,000件/年	-	7,747	5,143	↘	↘	5,143	13,000件/年	39.6%
熊本地震からの創造的復興	創造的復興の推進	益城町市街地部の人口回復率	19%	-	35	48	↗	↗	48	50%	96.0%
		熊本と阿蘇の交通量の回復状況	32,700台/日	-	37,800	38,600	↗	↗	38,600	39,400台/日	98.0%
		空港周辺における新産業振興策(UXプロジェクト)の取組みに係る企業・団体等の参画数	-	-	12	36	↗	↗	48	40企業・団体等/4年	達成
将来に向けた地域創生の取組み	次世代を担う人材の育成	全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った項目数	5項目中1項目	-	【中止】	4項目中1項目	↔	-	4項目中1項目	全て	-
		生徒の英語力 中3:英検3級相当取得率 高3:英検準2級相当取得率	中3:27.1%	-	26.3	32.2	↔	↔	32.2	中3:40.0%	80.5%
			高3:32.9%	-	34.4	32.3			32.3	高3:45.0%	71.8%
	若者の地元定着と人材育成	新規学卒就職者(県内高校)の県内就職率	61.3%	-	62.9	63.0	↗	↗	63.0	65.0%	96.9%
		ブライツ企業に就職した新卒学生数	3,239人/4年	809.75人/年	1,807	1,564	↗	↗	3,371	3,600人/4年	93.6%
		農林水産業の新規就業者数	527人/年(H30)	-	559	【集計中】	-	-	【集計中】	690人/年	-
		看護職員数	34,248人(H30)	-	35,070	【集計中】	-	-	【集計中】	36,900人	-
		介護職員数	30,859人(H30)	-	32,396	【集計中】	-	-	【集計中】	33,878人	-
		介護ロボット・ICT機器を導入している入所施設の割合	21.9%	-	30.4	36.5	↗	↗	36.5	50.0%	73.0%
		新規学卒就職者(県内中学・高校)の県内建設業就業者数	178人/年	-	181	204	↗	↗	204	180人/年	達成
	安全・安心な社会の実現	「結婚支援」、「一般不妊治療助成」、「早産予防対策事業」の全てに取り組む市町村数	31市町村	-	34	34	↗	↔	34	45市町村	75.6%
		保育所等利用待機児童数	178人	-	70	8	↗	↗	8	0人	95.5%
		登録里親数	214世帯	-	232	278	↗	↗	278	348世帯	79.9%
くまもとスマートライフアプリ登録者の平均歩数		5,300歩	-	5,600	5,980	↗	↗	5,980	6,300歩	94.9%	
農福連携コーディネート事業での契約件数		11件	-	46	96	↗	↗	96	50件	達成	
交通事故死傷者数		5,161人/年	-	4,033	3,975	↗	↗	3,975	前年比減	達成	
魅力ある地域づくり	県による新たな地域資源の掘り起こしや市町村等と協働して行う地域づくりの取組件数	96件/4年	24件/年	31	35	↗	↗	66	120件/4年	55.0%	
	プラスチックごみ分別回収(容器包装リサイクル法対象)に取り組む市町村数	39市町村	-	39	39	↔	↔	39	45市町村	86.7%	
	県内企業・団体等の「再エネ100宣言RE Action」参加数	-	-	1	2	↗	↗	2	10団体	20.0%	
施策横断的な取組み	SDGs登録制度における登録事業者数	-	-	-	1,010	↗	↗	1,010	300件	達成	



発行者：熊 本 県
所 属：企 画 課
発行年度：令 和 4 年 度

©2010 熊本県くまモン